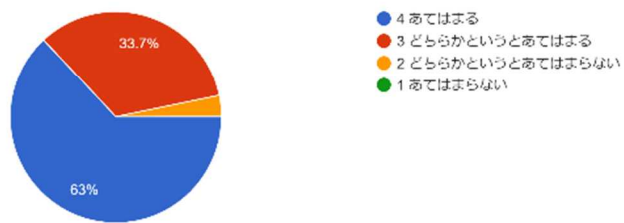


【前期・後期学習アンケート】（生徒）

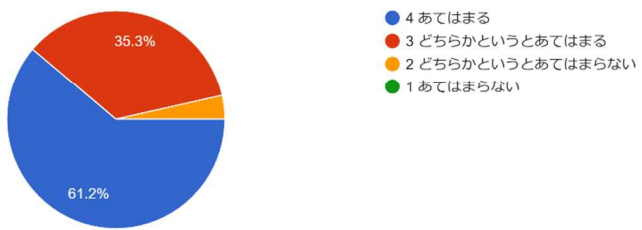
（前期）

ア 学習の準備をしっかりと行い、集中して授業に取り組んでいる。
92 件の回答



（後期）

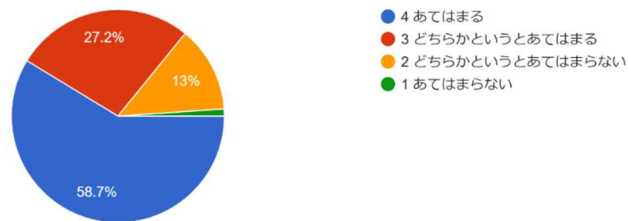
ア 学習の準備をしっかりと行い、集中して授業に取り組んでいる。
85 件の回答



【アの考察】 前・後期ともに、肯定的な回答（4 または 3 と回答、以下同じ）が、95%以上である。

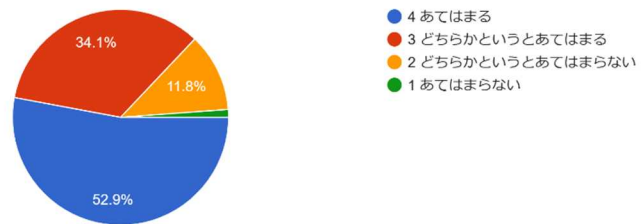
（前期）

イ 学習課題に興味・関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。
92 件の回答



（後期）

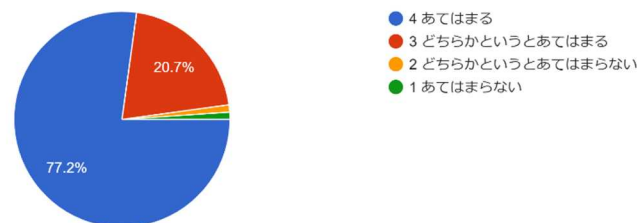
イ 学習課題に興味・関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。
85 件の回答



【イの考察】 前・後期ともに、肯定的な回答が、85%以上である。

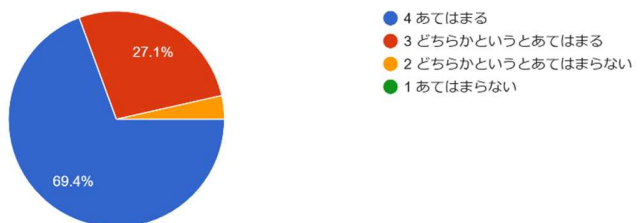
（前期）

ウ ペアやグループでの学習に協力して取り組んでいる。
92 件の回答



（後期）

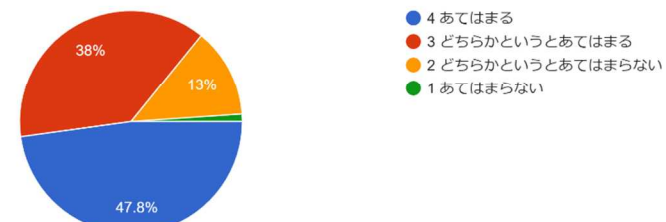
ウ ペアやグループでの学習に協力して取り組んでいる。
85 件の回答



【ウの考察】 前・後期ともに、肯定的な回答が、95%以上である。

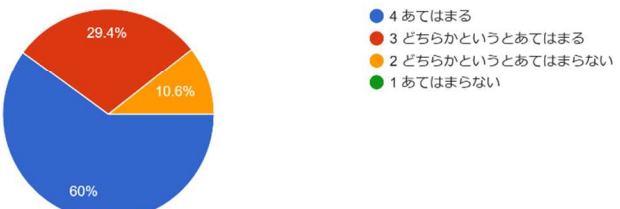
（前期）

エ 分からないことを質問したり、調べたりしている。
92 件の回答



（後期）

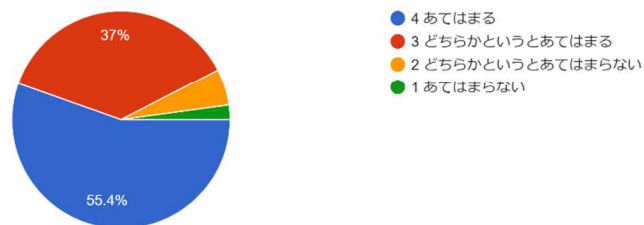
エ 分からないことを質問したり、調べたりしている。
85 件の回答



【エの考察】 前・後期ともに、肯定的な回答が、85%以上である。

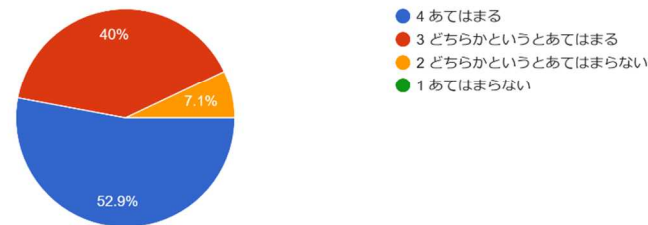
(前期)

オ ノートづくりを工夫し、学習のまとめをしている。
92 件の回答



(後期)

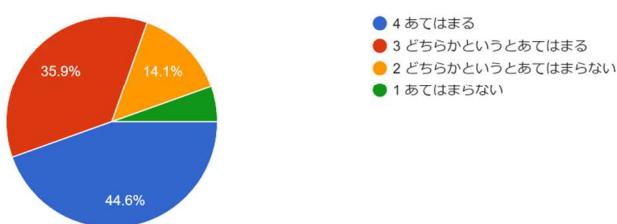
オ ノートづくりを工夫し、学習のまとめをしている。
85 件の回答



【オの考察】前・後期ともに、肯定的な回答が、90%以上である。

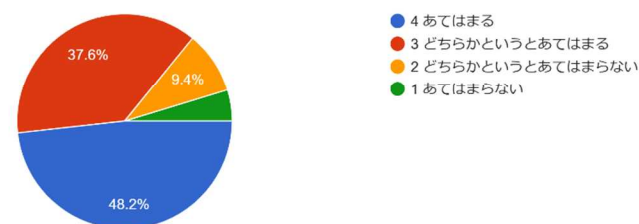
(前期)

カ 家庭学習を計画的に進め、時間を確保している。
92 件の回答



(後期)

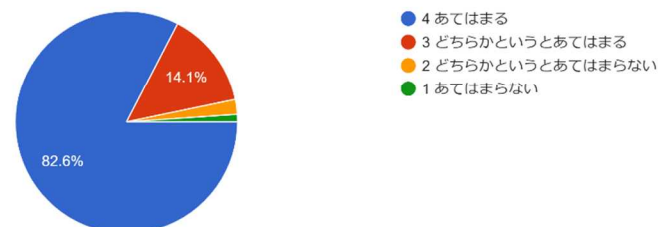
カ 家庭学習を計画的に進め、時間を確保している。
85 件の回答



【カの考察】否定的な回答（1または2と回答、以下同じ）に注目すると、前期は約20%だったのに対し、後期は約15%であり、5ポイント減少している。

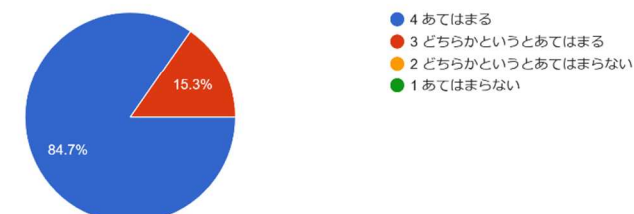
(前期)

キ 一人一台端末を利用・活用している。
92 件の回答



(後期)

キ 一人一台端末を利用・活用している。
85 件の回答



【キの考察】否定的な回答（1または2と回答、以下同じ）に注目すると前期は3.3%だったのに対し、後期は0%であった。

【全体の考察】

- ・前期と後期のアンケート結果から評価が最も高い項目は、「キ 一人一台端末を利用・活用している」であった。これは各行事等で端末を使用していることと、各教科で端末を使つての授業が積極的に行われた結果と思われる。次いで評価が高かった項目は「ア 学習の準備をしっかりと行い、集中して授業に取り組んでいる」と「ウ ペアやグループでの学習に協力して取り組んでいる」であった。これは、生徒の規範意識の高さもあるが、端末を活用してのグループ活動が意欲喚起につながっていると考えられる。
- ・前期と後期のアンケート結果から評価が最も低い項目は「カ 家庭学習を計画的に進め、時間を確保している」であった。この要因として、放課後にクラブなどの活動があり、学習時間がうまく確保できないことがあげられる。また、家庭では学習以外に（スマホ等）時間を費やしていることも要因の一つと考えられる。次いで評価が低かったのは、「イ 学習課題に興味・関心をもち、意欲的に学ぼうとしている」であった。これは評価が高かった項目の「ア 学習の準備をしっかりと行い、集中して授業に取り組んでいる」と内容が類似しているが、家庭での学習という内容も踏まえて答えているので評価が低くなったと考えられる。次いで低い項目は「エ 分からないことを質問したり、調べたりしている」であった。この項目も授業ではなく家庭学習でという内容が含まれていると思われるので低かったと考えられる。

【今後について】

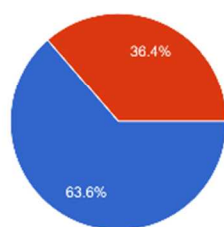
- ・家庭での学習内容の精選や自学する習慣づけが必要になると思われるが、家庭への啓蒙や協力、生徒へ学ぶ意義を教えなければならぬので難しい項目である。しかし、本校の生徒は集中して仲間と協力して学習に取り組めるよさがあるので、授業を通して学ぶことの楽しさや意義が感じられるような課題の設定の工夫（内容・量）も改善策の一つであると考えられる。

【前期・後期学習アンケート】（教師）

（前期）

ア 学習規律を確立している。

11 件の回答

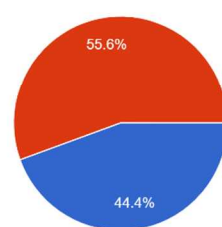


● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

（後期）

ア 学習規律を確立している。

9 件の回答



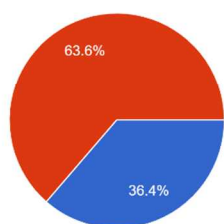
● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

【アの考察】「あてはまる」に注目すると、前期は約 64 % だったのに対し、後期は約 44 % であり、20 ポイント減少している。「どちらかというにあてはまる」に注目すると、前期は、約 36 % だったのに対し、後期は約 56 % であり、20 ポイント増加している。

（前期）

イ 学習課題の設定を工夫するなど、生徒の学ぶ意欲を喚起している。

11 件の回答

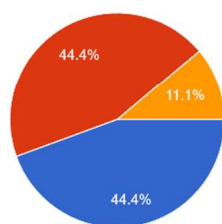


● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

（後期）

イ 学習課題の設定を工夫するなど、生徒の学ぶ意欲を喚起している。

9 件の回答



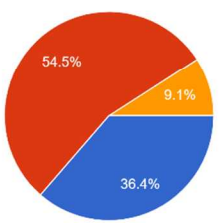
● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

【イの考察】「どちらかというにあてはまらない」に注目すると、前期は回答がなかったのに対し、後期は約 10 % である。

（前期）

ウ 生徒が協働しながら学ぶ場面を取り入れている。

11 件の回答

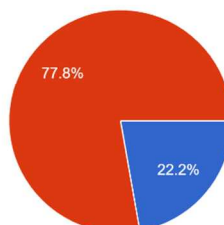


● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

（後期）

ウ 生徒が協働しながら学ぶ場面を取り入れている。

9 件の回答



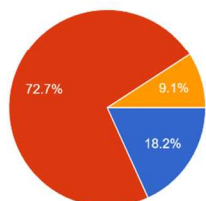
● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

【ウの考察】「どちらかというにあてはまらない」に注目すると、前期は約 10 % だったのに対し、後期は回答がなかった。また、「あてはまる」に注目すると、前期は約 36 % だったのに対し、後期は約 22 % であり、14 ポイント減少している。

（前期）

エ 個に応じた指導を重視し、指導を工夫している。

11 件の回答

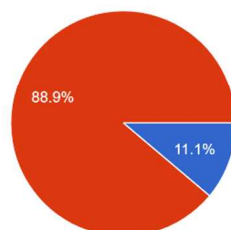


● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

（後期）

エ 個に応じた指導を重視し、指導を工夫している。

9 件の回答

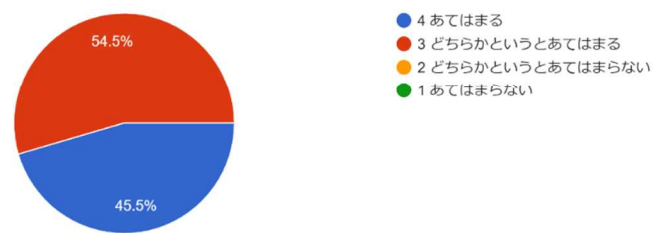


● 4 あてはまる
● 3 どちらかというにあてはまる
● 2 どちらかというにあてはまらない
● 1 あてはまらない

【エの考察】「どちらかというにあてはまらない」に注目すると、前期は約 10 % だったのに対し、後期は回答がなかった。

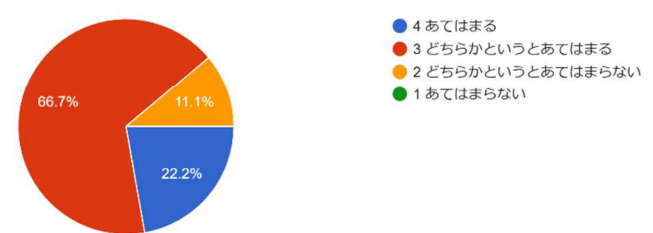
(前期)

オ 「めあて」、「まとめ」、「振り返り」を明確にした授業作りを進めている。
11 件の回答



(後期)

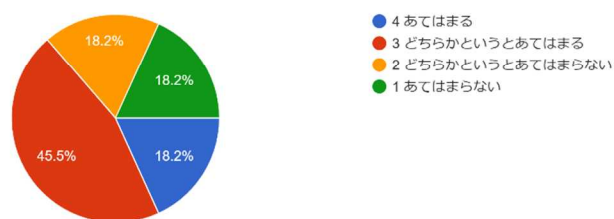
オ 「めあて」、「まとめ」、「振り返り」を明確にした授業作りを進めている。
9 件の回答



【オの考察】「あてはまる」に注目すると、前期は約 4 6 % だったのに対し、後期は約 2 2 % であり、1 4 ポイント減少している。
また、「どちらかというあてはまらない」に注目すると、前期は回答がなかったのに対し、後期は約 1 0 % である。

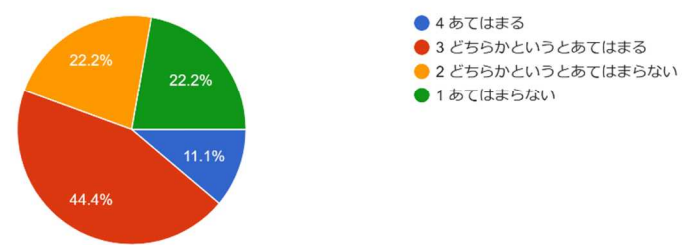
(前期)

力 授業内容と関連付け、家庭学習の内容・方針を示している。
11 件の回答



(後期)

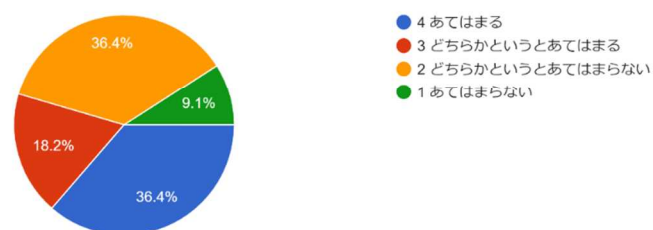
力 授業内容と関連付け、家庭学習の内容・方針を示している。
9 件の回答



【力の考察】前・後期ともに、肯定的な回答 6 0 % 以上である
※ 5 教科と技能教科に関して分析を要する可能性がある。

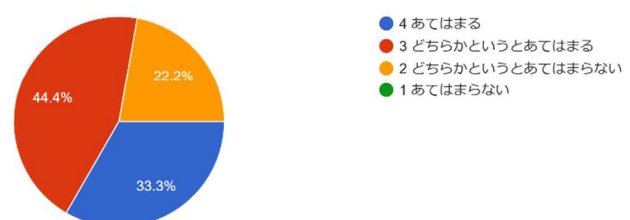
(前期)

キ 授業において、一人一台端末を利用し、活用を図っている。
11 件の回答



(後期)

キ 授業において、一人一台端末を利用し、活用を図っている。
9 件の回答



【キの考察】肯定的な回答に注目すると、前期は約 5 5 % だったのに対し、後期は約 7 8 % であり、約 2 3 ポイント増加している。

【全体の考察】

- ・全体的に前期より後期の方が評価の向上がみられた。特に「エ 個に応じた指導を重視し、指導を工夫している」「キ 一人一台端末を利用し、活用を図っている」の項目に向上がみられた。この 2 つは互いに関連している項目であり、生徒個々が設定された時間内で個のペースで学習ができていると考えられる。
- ・前期より評価が下がった項目は「オ 『めあて』『まとめ』『振り返り』を明確にした授業作りを進めているか」であった。これは教科や単元によって 1 時間の授業で振り返りまでいくのが難しい時があったと考えられる。

【今後について】

- ・一人一台端末を活用し、個に応じた授業づくりの意識の高まりがみられたが、振り返りの時間まで到達できなかったと考えられる。今後、端末を活用する授業と活用しない授業のバランスを図りながら、『振り返り』まで見通した授業作りを考えていく必要があると考えられる。